

# リハビリテーション FIM 評価管理システム 使用マニュアル

## 【はじめに】

平成 18 年 4 月より、リハビリテーションの施行に上限日数が設定されるようになりました。できないことをできるようにするリハビリテーションから、できることを伸ばして日常生活を送れるようにするリハビリテーションへの転換です。

リハビリテーション算定のための評価基準として、機能的自立度評価法 FIM (Functional Independence Measure) という評価方法が用いられます。FIM とは、実際に「している」状況を記録して、介助者を要するのか？ 要するとすると、どれくらいの介助を要するのか？ という介助量を測定する評価方法です。

FIM の評価項目には、運動項目が 13 項目、認知項目が 5 項目、合計 18 項目があります。運動項目には、セルフケア、排泄コントロール、移乗についての項目があり、認知項目には、コミュニケーションや社会的認知についての項目があります。各項目について、1~7 点の点数で評価します。18 項目合計 126 点を満点として、今現在、何点の状況なのかということがわかるシステムです。

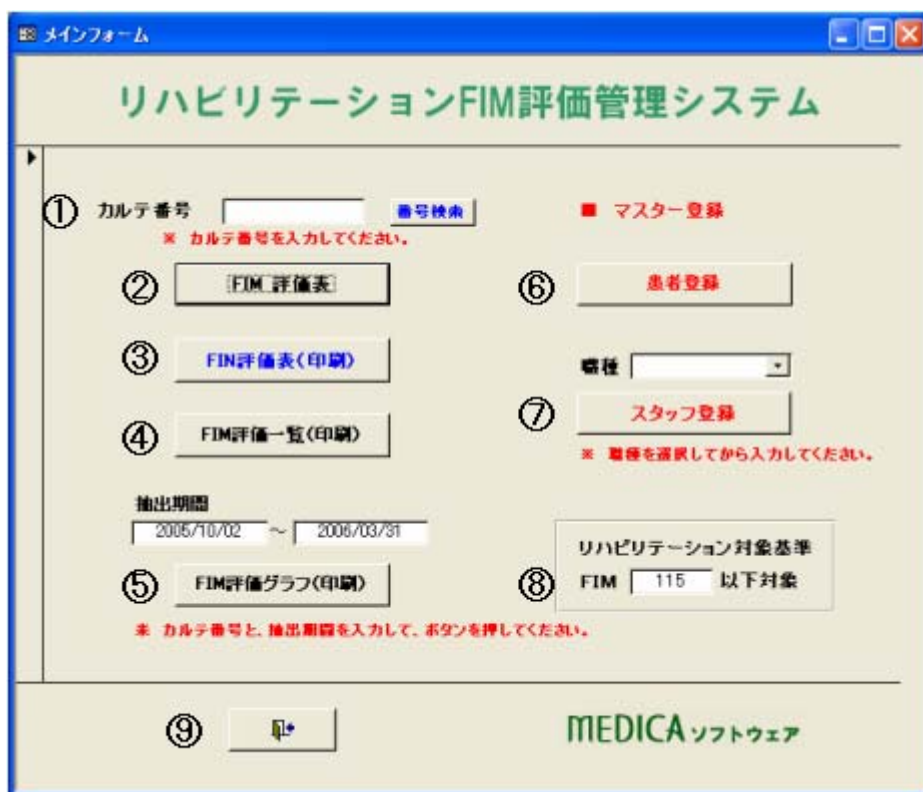
今回の改定では、「リハビリテーションを要する状態であって、一定程度以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力の低下及び日常生活能力の低下している患者」がリハビリテーションの対象患者となります。この判定基準として、FIM が 115 以下であるということが明文化されました。さらに、1 週間以内に FIM 得点が 10 以上低下するような状態にあるときには、急性増悪と見なされ、新たな発症日とすることができるようになります。このように、今後は FIM の評価なしにリハビリテーションは考えられなくなります。

このソフトウェアは、リハビリテーション管理に必要な FIM を管理するためのものです。わかりやすい簡単な操作で、患者の FIM 推移がしっかりと管理できるように作成してあります。

機能的自立度をしっかりと評価し、適切なリハビリテーションを提供していただければと思います。

## 【メインメニュー】

ソフトを起動すると、下記のメインメニューが現れます。

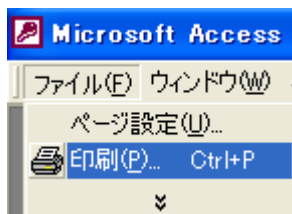


## 【まず最初に】

このソフトウェアを使用するにあたり、基本操作を3つ覚えてください。

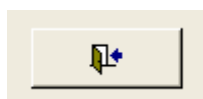
### 印刷方法

各種レポート（書類）を印刷する場合は、画面左上のファイルから印刷を選択して印刷します。



### 画面（フォーム）を閉じる

ソフトウェアを操作するにあたり、様々な画面（フォーム）が現れます。この画面を閉じるには、画面下方にある、下図のボタンを押してください。



## 日付の入力

記録を作成するにあたり、様々な場所で日付を入力することになります。

日付は以下の書式のいずれかで入力を行ってください。

例) 平成 16 年 5 月 30 日

5/30 、 2004/5/30 、 h16/5/30 (平成:h、昭和:s、大正:t、明治:m)

どの方法で入力しても、表示は「平成 16 年 5 月 30 日」または「2004 年 5 月 30 日」となります。

これは、Windows の日付設定により、どちらかで表示されるようになります。

ソフトウェアを使用するには、様々なマスター登録を行う必要があります。

まずは、各種マスター登録を行きましょう。

## 【患者登録】

患者情報を登録します。このソフトウェアは「カルテ番号」で管理を行いますので、必ず最初に登録を行ってください。

ボタンを押すと、次の画面が現れます。

カルテ番号	<input type="text"/>	カルテ番号検索
患者氏名	サンプル 太郎 様	
ふりがな	サンプル 知り	
苗文字	サ	
性別	男	
生年月日	昭和25年1月1日	
郵便番号	<input type="text"/>	
住所	<input type="text"/>	
電話番号	<input type="text"/>	

レコード: [ ] / 2

## 【患者登録方法】

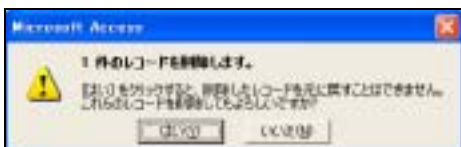
「新規作成」ボタンを押すと、新規患者入力画面（白紙）が現れます。

カルテ番号から始めて、必要事項を順次、入力してください。

フリガナは自動入力されませんので、入力を行ってください。  
(自動入力はエラーが生じやすいため、このソフトでは機能から外しています)

### 【情報削除】

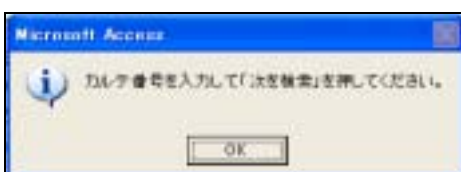
誤って入力した際は、「削除」ボタンを押してください。



という画面が現れますので、「はい」を選択してください。  
これで、削除したい利用者情報が削除されます。「はい」を押した後は、削除した利用者情報は復活しませんので、ご注意ください。

### 【患者検索方法】

「カルテ番号検索」ボタンを押します。



という注意文が現れますので、「はい」を押してください。



検索画面が出ますので、カルテ番号の一部または全部を入力して「次を検索」ボタンを押してください。

目的とする患者データが表示されるまで「次を検索」ボタンを押してください。  
目的とする患者データが表示された場合は、「キャンセル」ボタンを押して、検索を終了します。  
検索しても患者データが見つからない場合は、データが入力されていないので、新規入力を行ってください。

### 【スタッフ登録】

FIM 評価を行うスタッフを登録するための画面です。

職種

理学療法士

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

医師

看護師

職種を選択して、「スタッフ登録」ボタンを押すと、次の画面が現れます。

スタッフ登録

理学療法士

表示順	氏名	
1	理学 太郎	削除
2	物療 達	削除
*		削除

新規作成

レコード: 1 / 2

空欄にスタッフ名を登録します。空欄がない場合は、「新規作成」ボタンを押してください。表示順とは、指名選択時に、スタッフ名がプルダウンで一覧表示されますが、その際の表示順を決めるためのものです。数字が小さい順(昇順)で表示されます。自由な数字を入れてください。データを削除する場合は、右横の「削除」ボタンを押してください。削除確認表示が出ますので、「はい」を選択すると削除されます。

### 【リハビリテーション対象基準】

FIM 評価を行った後、リハビリテーション対象となる数値を決めるためのものです。

平成 18 年 4 月からのリハビリテーションの基準では、FIM 115 以下がリハビリテーションの対象となっておりますので、初期値は 115 としております。

リハビリテーション対象基準

FIM  以下対象

今後、制度が変わり、FIMの基準が変更になりましたら、この数値を変更してください。

以上でマスター登録は終了です。

それでは、実際にFIM評価を行っていきましょう。

～ の操作を行うためには、必ず、 のカルテ番号を入力する必要があります。

### 【FIM 評価表】

カルテ番号を入力してから「FIM 評価表」ボタンを押すと、次の画面が現れます。

The screenshot shows a software window titled "FIM 評価表". At the top, there are buttons for "印刷" (Print) and "FIM 採点基準" (FIM Scoring Criteria). The form is divided into several sections:

- 患者情報 (Patient Information):** Includes fields for patient ID (1), name (サンプル 太郎 様), gender (男), birth date (昭和25年1月1日), and age (56 歳).
- FIM 評価日 (FIM Evaluation Date):** Set to 平成28年2月11日 (Today).
- 評価者 (Evaluator):** Set to 理学療法士 (Physical Therapist) and 理学 次郎 (Ryoko).
- FIM 評価項目 (FIM Evaluation Items):** A table with columns for item name, score, and comment (17 characters or less).

FIM 評価項目	点数	コメント (17文字以内)	
セルフケア	食事	7	飲んではあかきくほこましますそたち
	整容	7	
	清拭	7	
	更衣・上半身	7	
	更衣・下半身	7	
	トイレ動作	7	
排泄コントロール	排尿管理	7	
	排便管理	7	

移乗	ベッド・椅子・車椅子	<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
	トイレ	<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
	浴槽・シャワー	<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
移動	移動	<input checked="" type="radio"/> 歩行 <input type="radio"/> 車椅子	
		<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
移動	階段	<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
コミュニケーション	理解	<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
	表出	<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
社会的認知	社会的交流	<input type="text" value="7"/>	<input type="text"/>
	問題解決	<input type="text" value="8"/>	<input type="text"/>
	記憶	<input type="text" value="1"/>	<input type="text"/>
	運動項目	<input type="text" value="91"/>	点
	認知項目	<input type="text" value="25"/>	点
	合計	<input type="text" value="116"/>	点 自立

レコード:  / 2

「新規入力」ボタンを押します。

カルテ No は自動的に入力されていますので、まずは FIM 評価日を入力してください。

住所、氏名、フリガナ、性別、生年月日、年齢など、 の患者登録で登録した情報が自動的に表示されます。

評価者を入力します。職種を選択すると、その職種のスタッフ一覧がプルダウンで表示されます。

順次、評価項目に従って、点数を入力してください。

運動項目 13 項目、認知項目 5 項目の、全部で 18 項目に点数を入力します。

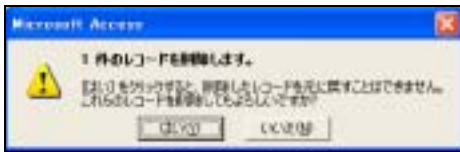
コメントがありましたら、17 文字以内で入力してください。

評価項目に点数を入力すると、自動的に、運動項目合計、認知項目合計、総合計の点数が表示されます。

総合計の点数が、 で設定した点数以下の場合には「リハビリテーション対象」、点数以上の場合は「自立」と表示されます。

### 【情報削除】

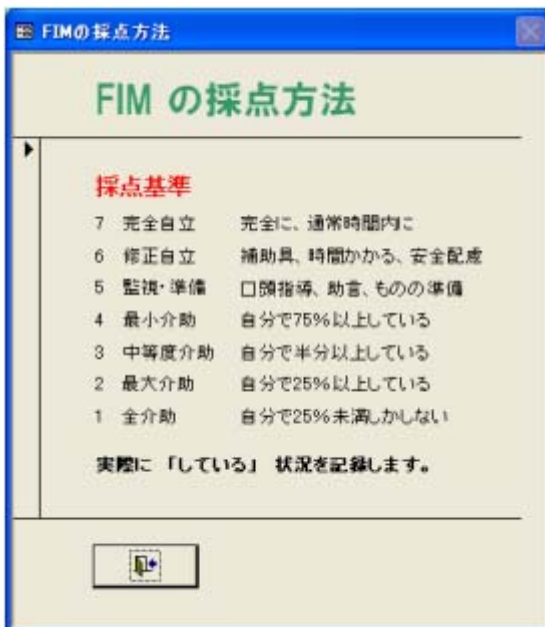
誤って入力した際は、「削除」ボタンを押してください。



という画面が現れますので、「はい」を選択してください。

### 【FIM 採点基準】

画面右上の「FIM 採点基準」ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



FIM 評価は「している」状況进行评估するものです。

おおまかな採点基準を表示していますので、参考にしてください。

### 【FIM 評価表の印刷】

FIM 評価表を印刷する際には、印刷したい記録のページで、画面上の「印刷」ボタンを押します。

## FIM 評価表

患者情報			
1	ヤングル 太郎 様	男	昭和23年10月1日 生 男 歳
FIM評価日		評価者	
平成23年10月1日		看護師 花井 太郎	
FIM評価項目		点数	コメント
セルフケア	着脱	7	あいりえんが全くけこさずせせせ
	嚥下	7	
	排泄	7	
	更衣・上着介	7	
	更衣・下着介	7	
	入浴介助	7	
歩行エピソード	歩行管理	7	
	歩行管理	7	
移動	ベッド・椅子・車椅子	7	
	トイレ	7	
	浴槽・シャワー	7	
覚醒	覚醒	② 歩行 ① 車椅子	7
	睡眠	7	
コミュニケーション	聴覚	7	
	言語	7	
社会的認知	社会的認知	7	
	問題解決	3	
	注意	1	
	総得点	21	点
	総項目数	23	点
	合計	119	点 自立

必要に応じて、印刷方法に従って印刷を行ってください。

### 【FIM 評価表 (印刷)】

カルテ番号別に、FIM 評価を印刷するために用います。

先ほどの印刷は、カルテ番号別および評価日別ですが、このボタンでは、カルテ番号別にまとめて評価表が表示されます。

必要に応じて、印刷方法に従って印刷を行ってください。

ページを選択して印刷することも可能です。

### 【FIM 評価一覧 (印刷)】

カルテ番号別に、FIM 評価の一覧を印刷するために用います。

「FIM 評価一覧 (印刷)」ボタンを押すと、以下のレポートが表示されます。

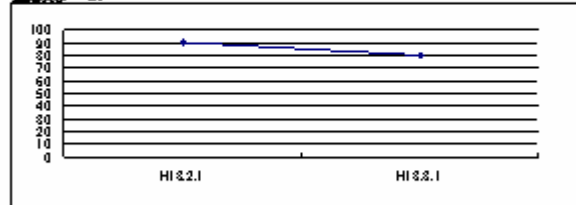


## FIM 評価 推移グラフ

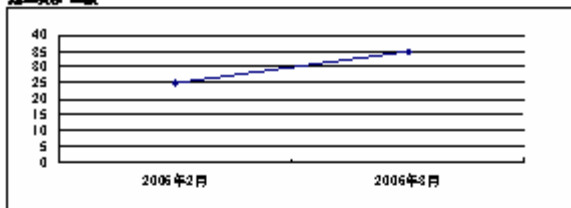
患者情報

1 サンプル太郎 男 昭和23年1月10日生

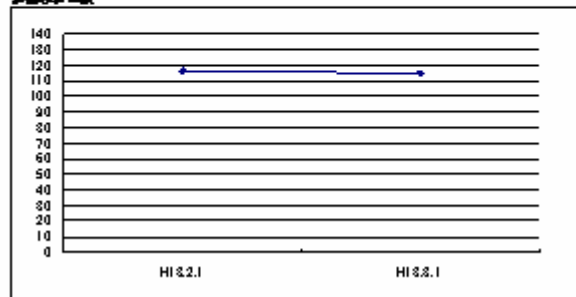
運動項目点数



認知項目点数



評価合計点数



選択した期間における、運動項目点数、認知項目点数、評価合計点数の3つのグラフが表示されます。

必要に応じて、印刷方法に従って印刷を行ってください。

### 【終了】

ボタンを押すと、ソフトを終了します。